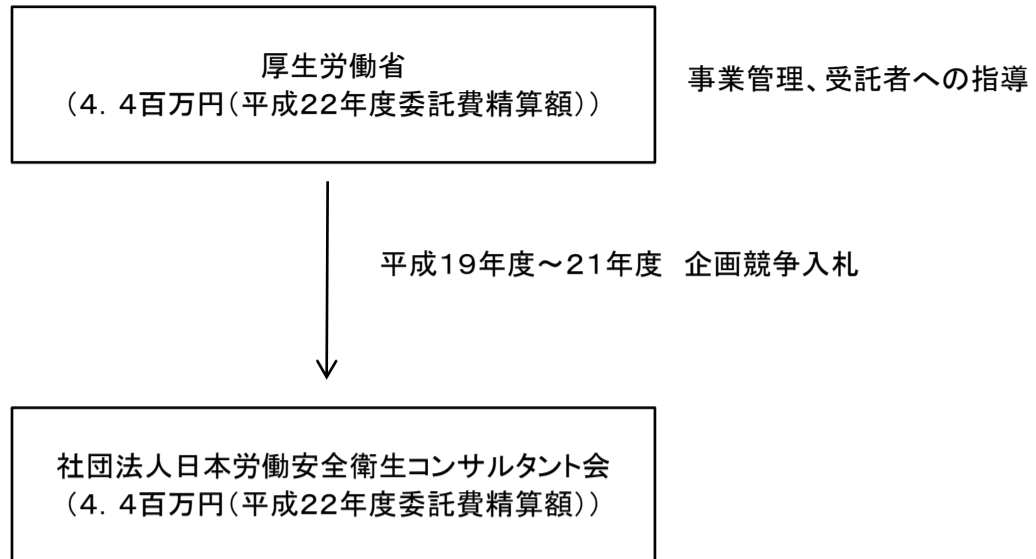


行政事業レビューシート (厚生労働省)

<b>事業名</b>	安全衛生マネジメントシステムに関するASEAN+3ダイアログ開催事業		<b>担当部局庁</b>	労働基準局安全衛生部		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成19年度開始・平成23年度終了		<b>担当課室</b>	計画課国際室		南保 昌孝		
<b>会計区分</b>	労働保険特別会計 労災勘定		<b>施策名</b>	-				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	第11次労働災害防止計画				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	労働安全衛生マネジメントシステムの国際的な協調が進展している中、ASEAN各国、日本、中国及び韓国においても、同システムをはじめとする労働安全衛生についての共通の取組みを推進する動きがあり、本事業を実施することで我が国の安全衛生に関する制度を反映させ、これらの国への進出企業における労働安全衛生対策を円滑にすることを目的とする。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	ASEAN-OSHNET(労働安全衛生の分野でASEAN諸国が相互に情報交換・研究・研修等を行う枠組み)と連携し、労働安全衛生マネジメントシステムをASEAN地域内の企業(特に中小企業)に導入していく方策について、ASEAN地域内で政策対話を開催し、意見交換・検討を行う。平成22年度は、前年度までの事業実績を踏まえ、マネジメントシステムの普及を図るための指導文書について議論を行い、当該指導文書に基づく取組みの推進について合意を得た。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	<b>予算の状況</b>	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	4.2	3.7	6.6	6.6		
	執行額	3.9	3.7	4.4				
	執行率(%)	93%	100%	67%				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	<b>成果指標</b>			<b>単位</b>	<b>20年度</b>	<b>21年度</b>	<b>22年度</b>	<b>目標値 (年度)</b>
	本事業は、ASEAN諸国及び中国、韓国が集まって、労働安全衛生マネジメントシステムの普及策等について協議を行うものであり、定量的な成果目標の設定になじまない。		<b>成果実績</b>		-	-	-	-
			<b>達成度</b>	%				
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	<b>活動指標</b>			<b>単位</b>	<b>20年度</b>	<b>21年度</b>	<b>22年度</b>	<b>23年度活動見込</b>
	ダイアログ(政策対話)の開催回数		<b>活動実績 (当初見込み)</b>	回	1	1	1	- ( 1 ) ( 1 )
<b>単位当たりコスト</b>	4,389,118(円/回)		<b>算出根拠</b>	ダイアログ(政策対話)は1回開催することになっているため、単位当たりコストは、セミナー開催に要する費用で表す。				
<b>平成23・24年度予算内訳</b>	<b>費目</b>	<b>23年度当初予算</b>	<b>24年度要求</b>	<b>主な増減理由</b>				
	委託費	6.6		本事業は平成23年度をもって終了予定。				
計	6.6							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算の	-	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本事業は平成19年度から開始され、ASEAN諸国に対する労働安全衛生マネジメントシステムの導入についての取組を進めてきた結果、導入のための指導文書が作成され、導入が進められるための環境が整い、一定の成果を得たことから、平成23年度をもって終了予定。		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	安全衛生マネジメントシステムに関するASEAN+3ダイアログ開催事業については、政策効果等を検証の上、廃止すること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
平成23年度限りで廃止			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



ASEAN－OSHNET(労働安全衛生の分野でASEAN諸国が相互に情報交換・研究・研修等を行う枠組み)と連携し、労働安全衛生マネジメントシステムをASEAN地域内の企業(特に中小企業)に導入していく方策について、ASEAN地域内で政策対話を開催し、意見交換・検討を行う。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A. 社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	ダイアログ参加者の旅費	2.9			
その他	印刷費、送料、通訳費等	0.8			
管理費	業務管理費	0.5			
消費税	消費税	0.2			
計		4.4	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本労働安全衛生コンサ	上記事業概要のとおり	6.6	1	89%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					